



ライアー響会
ニュース
vol.66
2020.6.28

ライアー響会・運営会発行
Tel/Fax 042-469-8422
e-Mail hibiki@leierkyokai.jp
ホームページ http://leierkyokai.jp/

- 響会発行の以下の21冊を販売しています。
希望される方はお申し込みください。
(別途郵送料がかかりますが、1万円以上ご購入の場合、送料無料)
- ①ライアー響会会報 創刊号～16号 (すべて付録楽譜付)
(一般の方には15号まで販売しています)
各号とも 会員1800円 一般2000円
 - ②藤井喬梓編「四つの日本のわらべ歌」
会員1200円(1冊に限り) 一般1500円
 - ③「ライアー～新しい弦楽器の誕生と可能性」
(マリア・ホルンダー、ペーター・レッペ編/猿谷利加、水野珠実、泉本信子訳)
会員2700円(1冊に限り) 一般3200円
 - ④ヴォルフガング・フリーベ編
「レーゲンボーゲン～ライアーとその他の楽器のための歌と楽曲～」
会員2300円(1冊に限り) 一般2500円
 - ⑤「ライアーのための四季のひびき」
会員2000円(1冊に限り) 一般2200円
 - ⑥コリン・タンサー 楽譜
「The Heart's Reply」 会員1800円 一般2000円
- 申込先: E-mail hibiki@leierkyokai.jp

■「ライアー 2020 東京」中止のお知らせ

会員のみなさま

いかがおすごでしょうか。新型ウィルスの感染拡大の中で不安と緊張の日々をすごされていたことと思います。

このような状況にあって、9月の「ライアー響会・会員の集まり」をどうするかについて運営委員で検討を重ねました。先行きはなかなか見えないけれど、もしも可能な状況になれば縮小して開催するというので、5月の時点で分科会の講師の方々、講演の講師の方にテーマやコメントを送っていただきプログラムを作成しつつありました。しかし緊急事態宣言解除後も、まだ心配は続いています。縮小して開催するにしても密な状況避ける方法が難しく、集まることへの不安やリスクもあります。会場となる成美教育文化会館は使用可能ですが、開催に当たっての条件が厳しく、それに対応するのが困難ということもあり、運営会として中止を決定いたしました。

今年は竹田喜代子氏を講演の講師としてお招きしていました。長年音楽教育、音楽療法に携われ、また教員養成や音楽療法士養成にも尽力されている方で「魂の自由な呼吸を求めて～呼吸と音楽のかかわり～」というテーマでお話しいただく予定でした。この講演についてはできれば第18期の「会員のための講座」として実現できればと考えています。

来年の9月には、みなさんとライアーの響きを共有できることを切に望んでいます。(運営会)

※大会前日に予定していました会員のための集まり「ライアー教師の会(第13回)」も、中止となります。

<お知らせ>

◆第17回総会について

「ライアー 2020 東京」の中止に伴い、ライアー響会の「第17回総会」は書面での開催とします。総会の資料と書面決議に関する書類は9月初旬にお送りいたします。

◆会報17号(付録楽譜)は例年通り発行いたします。ただ「ライアー東京2020」の開催がありませんので、内容を変更してお届けする予定です。

◆18期年会費の納入について

年会費10000円を、同封の振込用紙または口座間送金等で、

7月1日以降、9月20日までにお願いいたします。

なお、住所変更のある方、退会される方は必ず響会までご連絡ください。響会は8月1日から8月20日までお休みします。

◆オーケストラの練習について

- ・7月12日(日) 12:00～16:00 みどり野幼稚園
 - ・9月21日(月・祝) 12:00～16:00 成美教育文化会館・ギャラリー
 - ・10月25日(日) 時間未定 けや木ホール(代々木上原)
- 以上の予定ですが、中止の場合、また参加にあたってのお願いは直接メンバーの方にお知らせいたします。

<報告>

*5月～6月の下記、響会の催しは、新型コロナウイルスの影響により、全て中止になりました。

◆読書会 『果てしない軌跡/M・トビアッセン著』

2020年5月5日(火・祝)

会場: ルノアール貸会議室プラザ八重洲北口(3階2号室)

◆「ライアーオーケストラ第8期」第13回目練習合宿

2020年5月23日(土)24日(日)

会場: 横浜上郷森の家

◆会員のための講座No.43

「歌声の響きをつくるXI～ライアーの響きにふさわしい歌い方とは～」

2020年6月14日(日) 10:00～13:00

会場: 東京・Leier Studium Haus

講師: 古賀美春(シュタイナー学園 音楽専科教師)

「ライアー 2020 東京」で予定されていた分科会講師の方々から会員の皆様へ、原稿をお寄せ頂きました。

◇今年3月からの個人的な講座の休会に際し受講者の皆さんには、実際ライアーを弾いたりオイリュトミーをしたり出来ない方は、日常生活そのものをより芸術的に過ごすことに心を使って頂くよう提案しました。楽曲は、響会でもご紹介頂いたモーツァルトの「春への憧れ」をお知らせし、私はこの間20年溜まっていた資料の整理をしたり、眠っていた楽譜などに光と風を入れることができました。その最中ふと偶然に出会った老年の武術家のことを思い出しました。その方のお宅の膨大な書物や書画美術品を驚きと共に眺めていると彼は言いました。「私にはもう師はいない。ですから絵を観、書を書く事を通して武術を深めています。」私も丁度オイリュトミーの師を失った頃でしたので、その武術家の言葉には大いに励まされました。

コロナが少し落ち着いた6月に講座を再開すると、初めに行う即興練習の響きがとても静かで深まっていると感じました。皆さんはよい時間を過ごされたのだと実感しました。(福岡 田原真樹子)

◇コロナウィルスの自粛期間、全てのコンサートとアンサンブルが中止になって、一人でライアーを奏でる日々が続きました。『誰が聴いてなくても、天使が聴いているから…。』『ライアーの響きで地球にマントをかけるのよ…。』と自ら励まして、私のような凡人にはだんだん音楽の喜びがなくなってきました。

アンサンブルで『至福のハーモニーを醸しあった瞬間』、ソロ演奏でも感じる『聴き手の心と触れ合った時の暖かさ』、そのような人から人へと流れ合うものがないのです。今回のウィルスは人と人の繋がりを断つ働きをしています。人と人を繋ぐ音楽とは正反対の働きをするものですね。

自粛期間が終わり、開園したばかりの神代植物公園に薔薇を見に行きました。赤白黄ピンクの薔薇たちは日の光を浴びて咲き誇っています。「私たちを見に来てくれてありがとう！ 待っていたのよ！ 私の姿を見て！ 香りをかいで！」と語りかけてきます。花たちの喜びがひしひしと伝わってきます。花たちと心が通い合ったように、私たちにも人と人の心が通い合う音楽の喜びが訪れますように！

(高木英二子)

◇コロナウィルスが世界規模での広がりをするなか、私たちは未知のウィルスに対して様々な不安や恐怖に陥りました。そして、食料を備蓄したり、開店前のドラッグストアに並んでマスクを確保したり、ありとあらゆる情報をネットや新聞、テレビから収集したり。これらの行動は自分の心の中にある漠然とした不安というものを埋めて、安心したいという気持ちから起こる行動です。このように、心は動き回るとい性質があるのです。でも身体は反対に心地良い方へ向かう性質があるのです。重い荷物を長時間持つのは辛くて、楽になろうと手放しますよね。身体は心地良くなる方法を知っているのです。ですから、大きな不安に押しつぶされそうになったら、まず身体を動かすことをお勧めします。散歩、ストレッチ、楽器を弾く、歌うというのもとても良いです。自分が楽しくやれるのが一番です。身体を動かしていると心が軽くなってきます。どうぞ試してみてくださいね。

私はアンカヴァーリング・ザ・ヴォイス発声法の指導と歌唱療法を東京都東久留米市のアトリエ・カンテレで行っています。

声で健康になる方法や心を整える方法をHPとメールマガジンでお伝えしています。ご興味がある方は、ご覧ください。

HP <https://kantele-voice.com>

メルマガ <https://kantele-voice.com/e-mail-magazin>

(平井久仁子)

◇2月初旬、新型ウィルス感染の情報が出来たから、私たちはいくつもの決断を迫られました。多くの人がそうであるように。私的にはドイツ人二人を招いての4月の「トリオコンサート」はできるのか、日々ヨーロッパの感染状況を確認し、結局は日本向け飛行機がとばず中止の決定。響会の催しの各担当者は実施するか否かの判断に迷いながら決断。私は6月のドイツ行き航空券を持つも、さすがに今回は未練なくキャンセル。そして運営委員での「ライアー2020東京」中止の決断です。これからもまだまだ決断を求められることが続きそうです。

StayHomeの間、私はニュースを見て不安になり、緊張した体や心を解くようにライアーを弾いたり、普段コンサートのための練習が多かったのですが、思いがけない自由時間で、自分の音や演奏の仕方を改めて見直したり、そしてみんなで集まって演奏できる日のために、曲探し、アレンジも試みました。分科会テーマは「楽しくライアーの基礎を学びましょう」で、ライアー奏法の基礎を築いたJ.クニーリムの練習の仕方や簡単なアンサンブルをする予定でした。2021年9月に皆様とお会いできますように！

♪ライアーオリジナル曲「Peace」(C.タンサー)をソロ用に書き直したものを同封します。よかったら演奏してみてください。

(泉本信子)

◇今年アロイス・キュンストラの晩年のライアー作品集がバイエルハルツさんの編集で出版されたこともあり、私の分科会では彼の楽曲を演奏する予定でした。キュンストラは、シュタイナー教育や治療教育とかかわる子どもや大人のためにたくさんの曲を残した、ライアーの文化を築いた重要な一人です。

私は留学中、師匠ローリング先生のライアーレッスンを、ドイツ、ドルトムントの教育社会センターの音楽療法室で受けました。その部屋はアントロポゾフィーに基づく老人ホームの1階にあり、当時アロイス・キュンストラはそこに住んでいました。彼の作品を練習し、仕上がると、ローリング先生と一緒に彼の前で演奏したことは貴重な体験でした。彼が亡くなる少し前の時期で、半身付随、言葉も話せない状態でした。東洋人のライアー演奏はどう聴こえたのでしょうか。

『ライアー～新しい弦楽器の誕生と可能性』(ライアー響会刊)の、ローリング先生の「アロイス・キュンストラの思い出」をぜひお読みいただき、彼の曲を弾いてみてください。

(吉良 創)

会員が関わるコンサートや講座のお知らせ 現在ある情報から

※ HPもご参照ください。

◆7月19日(日)13:00 千葉・市川市

竖琴ライアーコンサート

演奏:リラ・コスモス

会場:木内ギャラリー

主催:NPO法人まちのすみかの会

問合せ:kokoko5050@gmail.com

◆7月23日(木・祝)24日(金・祝)

北海道・札幌市

ライアー合宿

講師:池末みゆき 会場:パラリンミュージアム

主催:札幌ライアーの会

問合せ:小沼 090-6990-2947

◆7月29日(水)~8月2日(日)

北海道・伊達市

ひびきの村 サマープログラム

「ライアーランド シーズン2」

講師:ジョン・ピリング、吉良 創

会場/主催:NPO法人 人智学共同体ひびきの村

問合せ:<http://www.hibikinomura.org/>

◆8月5日(水)19:00 東京・杉並区

「語り・歌・ライアー」

第9回 鬼京芋孫(ききょううそん)ひとり舞台

演奏:鬼京芋孫(鬼頭正明)

会場/問合せ:名曲喫茶ヴィオロン

Tel 03-3336-6414

◆9月6日(日)19:00 神奈川・川崎市

初秋の交流コンサート

演奏:皇恭子、江原延子、生徒さんたち

会場:ミューザ川崎音楽工房

主催/問合せ:江原延子

lyre-ehara@willcom.com

*前号でお知らせした以下のコンサートは、それぞれ、中止または延期となります。

◆7月3日(金)19:00 東京・新宿区

クラヴィコード&ライアー 癒しのコンサート

演奏:クラヴィコード 森澤登志子

ライアー 高木英二子

→2021年7月2日(金)に延期
(同会場、同時刻)

◆8月29日(土)19:00 東京・新宿区
東京ライアーアンサンブル演奏会

→2021年3月29日(月)に延期
(同会場、18:00~に変更)

◆10月18日(日)14:00 茨城・つくば市
つくばライアーの響き 19th コンサート
→中止

◆10月24日(土) 14:30 東京・世田谷区
ライアーと秋のうた 演奏: 江原延子
→中止

ライアー響会会員が関わるコンサートや講座がある場合、ライアー響会までお知らせください。以下の項目で情報をお送りください。

1. 開催する都道府県名
2. 日時
3. タイトル(演奏会・講演・講座等)
4. 演奏者又は講師
5. 会場
6. 主催
7. 問合せ先